



平成31年3月

第170号

かけはし

ケアハウスあじさい園

URL: <http://www.ajisaien.or.jp/>

平成31年3月、平成のしめくりの年度末を迎えました。気の引き締まる思いがいたします。登山家野口健さんの今度こそエベレスト登頂に成功したいと、いく度目かの挑戦の時の思いを伺った時の緊張感を思い出しました。

冒頭「夢を持つと苦しい。では夢を持つのをやめますか。」と。挑戦するのもしないのも怖い。けれども挑戦するのをやめた後には何も残らない。挑戦するのは怖いけれど挑戦しないというのは失敗かも知れない。

今度こそ、と臨んだエベレスト登頂は順調に進み8500mまで来た。その時まで足元を照らしていた月に暗い雲がスーッとかかり、すべてが静かになっ暗やみに大きく包み込まれた。残り300m行くか行かないか。

何かに挑戦する時は無理をしないといけないのでは、と自分に問いかけた。天候、体調、心の状態...、してはいけない無理もある。何より命が大事。友人と二人で登頂をめざしたが、野口さんは下山を選び、ひとり下山した。山を降りながら自由意志で下山を判断した自分と向き合った。自分で決めて好みに生きていくはずなのに苦しいのはなぜか。自由に判断すると結果がついてきて責任をとらなければいけない。孤独である。そして、途中でまた断念したのかという世間からのブーイングにも心が痛む。しかし下山の途中、自分自身をほめた。「あんた一流だよ。」最後の一步手前でまだまた下山したが、胸はって帰ろう。成功ではないが失敗ではない。登れば成功かできないれば失敗か。何をもちて成功か、失敗か、相手は自然である。自然相手に「絶対」というのは人間のおこりではないか、と思い、人生のすべてをかけて何が何でもという気もちを捨てた。そして人生はいつか終わりが来る。終わりが来たころ、いろんなことに挑戦してきたなあ、49%失敗、51%成功だとうれしいなあ、野口さんは人生をトータルで考えたいとおっしゃった。

トントんと効率よく登りたいと思うかも知れないが実はコツコツと地味に、さらにコツコツと大事に前に進めるのがよい。コツ、コツ、コツを忘れて遭難したら大変だから。さらに野口さんは他人からの厳しい批判や指摘を日記に書きとめ、時々見ては「はっ、おっしゃる通りです」と頭を下げ、いろんな角度から見られる他人の言葉にヒントをいただいている。そして自分はどれだけ心をやわらかくできるかに挑戦されています。



3月行事予定

- 3(日) いどばた会
- 5(火) 指編み教室
- 14(木) 食事会
- 20(水) 天理教交遊楽公演



新入居者様のご紹介

A様(87歳) 2/27ご入居
皆様よろしくお願ひ致します。



お誕生日おめでとうございます

B様 昭和 9.3.25生(85歳)
C様 大正 12.3.2生(96歳)



いどばた会(ひな祭り会)
三月三日(日)

今月のいどばた会はひな祭り会とし、おひな様にちなんだ間違ひ探しと、塗り絵にチャレンジして頂き、「うれしいひな祭り」を歌い盛り上がりました。

その後、三月誕生者のお祝いを致しました。

皆さん、幼い頃を思い出し、和やかな一時を過ごしてくださいました。